

世界最大野鳥観察会「バードフェア 2019」に出展 ～コウノトリ野生復帰の取組みを世界に発信～

昨年に引き続き、イギリスのバードウォッチングの名所である湖畔、ラトランド・ウォーターで開催される世界最大の野鳥観察の展示会バードフェア^(※1)に出展する。

(※1) バードフェア

バードウォッチングのツアーを売り込む国や自治体、光学機器メーカー、旅行会社、鳥に関する本の出版社など、500を超えるブースが設置され、バードウォッチャーや自然愛好家らを中心に多くの人々が訪れる。会場はロンドンから北に約200 km。昨年は約23,000人の来場があった。

1 出展目的

展示や講演を行い、豊岡のコウノトリ野生復帰の取組みを世界に発信する。また、海外メディアや自然保護団体などの発信力のあるキーパーソンと面会し、直接、豊岡の取組みを伝え、認知度の向上を図る。

2 「バードフェア 2019」の概要

(1) 日程

2019年8月16日（金）～18日（日）

(2) 本市の取組み

ア ブース展示

- (ア) ポスター「豊岡盆地で暮らす鳥」、パンフレット「コウノトリ野生復帰」、「円山川下流域・周辺水田」等の設置
- (イ) コウノトリ野生復帰映像の放映
- (ウ) コウノトリ野生復帰募金箱の設置



昨年の豊岡市ブースの展示

イ 市長講演

3日間で計3回、講演を行う。

《演題》

Reintroduction of OWS in Japan ～ Living In Harmony With Nature ～
『日本におけるコウノトリ野生復帰 ～コウノトリと共に生きる～』

ウ キーパーソン等との面会

(ア) パトリシア ズリータ氏 (【英】 Birdlife International 代表)

1922年に英国で発足した、世界で最も古い歴史を持つ国際環境NGOの一つバードライフ・インターナショナルのCEO。名誉総裁は高円宮妃久子殿下が務められている。

(イ) クリス パックハム氏 (【英】 自然写真家、作家)

有名なナチュラリストでテレビ司会者。1889年に設立された英国王立鳥類保護協会 (The Royal Society for the Protection of Birds) の副代表。

(ウ) デビッド リンドー氏 (【英】 Wildfowl & Wetland Trust 副代表)

「The Urban Birder」として知られる。WWT (Wildfowl & Wetlands Trust) の副代表。BBC (英国放送協会) 等のテレビ番組に多数出演。作家、バードウォッチングツアーリーダー。今年6月2日～6日まで豊岡に滞在し、“豊岡の魅力”を取材した。

(エ) ティム アップルトン氏 (【英】 エコロジスト、Birdfair の創始者)

バードフェアの創始者。ラトランド・ウォーター自然保護区の元保護区管理者。

(オ) 田端 浩氏 (観光庁長官)

3 渡航者

市長、市職員2人 (計3人)

＜参考＞

スケジュール

日程	内容	場所
8月15日(木)	・羽田空港 ⇒ ヒースロー空港(ロンドン) ・バードフェア準備	ロンドン ラトランド・ウォーター
16日(金)	バードフェア 2019	ラトランド・ウォーター
17日(土)		
18日(日)		
19日(月)	・自治体国際化協会ロンドン事務所訪問 ・ヒースロー空港 ⇒ 羽田空港	ロンドン

〔問合せ〕 豊岡市コウノトリ共生部コウノトリ共生課 TEL 0796-21-9017